



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業 土砂災害防止の意見提出を

様々な観点から意見を提出する

問 (仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業の環境影響評価について、カモシカ等の天然記念物の保護のために市はどのような意見を提出しているか。

答 本事業計画においては、これまで環境影響評価手続上の配慮書及び方法書の縦覧が行われており、配慮書に対しては、現在生息している動植物などの生態系への配慮等を、方法書については、カモシカ等の特別天然記念物及び天然記念物の保護等を意見として提出しています。

問 8月の豪雨災害により惣辺牧野の地下にある大惣辺トンネルが土砂で埋もれていることが確認されたが、事業予定地に風車が建設されることで、これまでより少ない雨量で土砂災害が発生することが懸念されるため、市から意見を述べる考えはないか。

答 環境影響評価法における環境保全の中には、動植物の保護のほか、土砂崩れ等の災害防止の観点も含まれていると認識しており、考え得る様々な観点から、意見を提出していきます。

問 事業の見直しを求めるという市の答弁には、事業の「中止」も含まれているか。

答 事業の中止も含まれています。

問 住宅街でも野生鳥獣を見かけるようになったが、今後どのような対策に取り組むのか。

答 捕獲だけでは被害を減らすことは難しいため、令和7年度より野生鳥獣の侵入を防ぐ電気柵の導入費用の一部を補助する事業を新規創設しています。また、人の生活圏に熊やイノシシ等が出没した際に、一定の条件下で市が委託等をした者による銃猟を可能とする「緊急銃猟制度」の運用体制の整備など、緊急時に迅速な対応が可能となる体制づくりを関係機関と連携して進め、状況に応じた対策を講じていきます。



山 田 洋 子
(柊の会)

歳出削減に向けた 既存事業の見直し基準は 事業の必要性等を勘案し、 優先順位を設ける

問 中央病院の経営が改善されず、毎年3億円の追加繰り出しが続いた場合の財政見通しは。

答 現時点のデータに基づく機械的な試算では、財政調整・減債・公共施設整備・地域振興・まちづくり等の主な基金は令和17年度頃に底をつく見込みとなりますが、今後の景気や物価の状況により変動するため、一つの目安としています。

問 今後の具体的な歳入確保の取組は。

答 国や県の補助金や有利な起債の活用に加え、ふるさと納税の返礼品充実、市と寄附者をつなぐ中間事業者の活用、積極的な情報発信等により、増額を目指します。

問 歳出削減に向け、既存事業の見直しに取り組む方針とのことだが、人口と税収が減少する中、どのような基準で事業を取捨選択し、優先順位を定めているか。

答 毎年の予算編成で財政状況や、事業の必要性・費用対効果を勘案し、相対的に事業の優先順位を設けた上で予算措置を行います。その中で義務的経費の事業や国・県から補助金が交付される事業を優先して予算措置を行います。

問 市民に財政状況や課題を共有するため、市長が動画でわかりやすく説明してはどうか。

答 市民にとってわかりやすい配信方法を検討します。

問 十和田湖・奥入瀬渓流世界遺産登録推進会議からの要望書の受け止め方と進め方は。

答 推進会議の活動に敬意を表するとともに、後世に引き継ぎたいという思いは同じです。世界文化遺産登録には、普遍的な価値の立証と機運醸成が必須であることから、市史編さん事業で文化的価値の調査を進め、成果は随時公表し、情報発信に努めていきたいと考えています。